

オオサカン楽員の 楽器の小部屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第5弾は **トランペット奏者 越村卓司！！** // 楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

トランペット
越村 卓司 Takashi Koshimura



現在使っている楽器のメーカー名・モデル名は？



① B♭管：YAMAHA・YTR-9335CH GP



② コルネット：YAMAHA・YCR-6330SII



③ C管：Bach・C180/#229

現在使っている楽器を選んだ理由(楽器に求めること)や気に入っているところは？

入団当初、B♭管はBACHを使用していましたが、2009年WASBEに参加するタイミングでYAMAHA・YTR-9335CH GPを購入しました。奥深い音色と安定した音程感が素晴らしいです。コルネットはYCR-6330SIIを使用していますが、大編成の楽曲に対応できるような様々な工夫を凝らしています。そのままでも魅力ある音色なのですが、1番の課題はB♭管に匹敵するようなパワーを生み出すことでした。木村先生の指揮でリードとパーンズの交響曲を演奏した際に、ボトムキャップを自身が使用しているシカゴモデル B♭管のものに付け替えた所、よい結果が出たのでそれを機に色々研究を重ねてきました。トランペットシャックへの変更は、B♭管で使用しているマウスピースを使えることによるストレス軽減もありますが、音量の幅が増えた事も大きな効果でした。コルネットの音色が損なわれないよう気を遣いながら、楽器本体の重量をバランス良く増やしてオオサカンのサウンドに合うよう近づけています。

コルネットのこだわりポイントは？

① 支柱

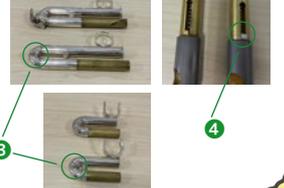
主管部に支柱を1本取り付け、息をたくさん吹き込めるよう抵抗感をつけて幅広い音量と音色を表現できるようにしました。

② ボトムキャップ

ボトムキャップをアーティストモデルのものに変更し、より豊かな響きに。

③ 第1・3 抜差管カニ目 ④ バルブガイド

第1・3 抜差管の先にカニ目を取り付け、バルブガイドをプラスチックから真鍮に変更して、明るい音色からやや落ち着いた響きに。



A: 変更前
B: 変更後

普段使用している楽器ケースのポイントは？



普段は電車移動のため、楽器の本数やミュートの数が多い時はセミハードのトリプルケースを使用して、荷物を少なく済ませるように工夫します。このケースはトリプルながらコンパクトな大きさなのが気に入っています。

練習の際、常に持ち歩いているものはなんですか？



バルブオイル(①)、チューニングスライドオイル(②)、スライドグリス(③)、スワブ(④)、マウスピースポーチ(⑤)、チューナー(⑥)を入れています。マウスピースポーチには、万が一に備えて予備のマウスピースを入れています。自身の練習ではスマートフォンのアプリのチューナーを使いますが、レッスンでは大きな音が鳴るこのチューナーを使っています。

楽器を演奏する時に大事にしていることは？

「音楽もスポーツも一緒、楽器は手段であって到達した先と同じ感動がある。」学生の時に師匠から掛けていただいた言葉です。結果に満足することなく、楽器を持ったら常に頭で考えて、その感動のある場所に少しでも近づけるよう努めています。

あなたにとって「トランペット」とは？

私の身体の一部です。トランペットに寄り添うことによって社会や人と繋がれてこの今を生けることができる、なくてはならない存在です。

